第103回 監査役全国会議のご案内

主　題

信頼される企業を支える監査役等の使命
―変革の時代におけるガバナンスと企業価値向上―

このたびの熊本地震により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地域の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

第103回監査役全国会議につきましては、参加者の皆様の安全確保および被災地の状況等を総合的に勘案し、現地開催を取りやめ、オンデマンド配信により開催することといたしました。開催形式の変更に際しましては、多くの皆様からご理解を賜り、深く感謝申し上げます。

本会議では、「信頼される企業を支える監査役等の使命 ―変革の時代におけるガバナンスと企業価値向上―」をメインテーマに掲げました。企業を取り巻く環境が大きく変化する中、監査役等には、企業価値の向上を支える実効性あるガバナンスの確保と、ステークホルダーからの信頼に応える役割が一層求められています。本会議が、これからの時代における監査役等の使命と実践について考察を深める機会となれば幸いです。

日 程　【オンデマンド配信期間】

2026年　11月11日(水) ～ 2027年　2月12日(金)

参加費　**1. 会員会社の方(登録会員以外の会員会社にご所属の方も含む)**　1名／16,500円※1

2. 会員会社以外の方　1名／33,000円※1

※1 消費税含む。

◆ **申込方法**

当協会にご登録の方(ID・パスワードを付与されている方)には、当協会HPの「会員専用マイページ」にサインイン→「セミナー」→「全国会議」→「第103回監査役全国会議」からお手続きください。

進化するコーポレート・ガバナンスの担い手として
日本監査役協会

プログラム

＜敬称略＞

会長挨拶	日本監査役協会　会長　山田　龍彦

経営者講演
「阿蘇くまもと空港の現状と今後の取り組み」
～熊本地震からの“創造的復興のシンボル”として～

＜講　師＞　熊本国際空港株式会社　代表取締役社長　山川　秀明

パネル基調講演
企業不祥事の背景を読み解く

＜講　師＞　徳永・松﨑・斉藤法律事務所　弁護士　家永　由佳里

パネルディスカッション
企業不祥事の背景を読み解く

＜登壇者＞　徳永・松﨑・斉藤法律事務所　弁護士　家永　由佳里
コントロールソリューションズ株式会社　代表取締役社長
/公認会計士・税理士・公認システム監査人　佐々野　未知
東洋大学　教授　桐生　正幸
味の素株式会社　取締役常勤監査委員　松澤　　巧

分科会1　AIと監査　Ver.2.0

＜進行役＞　かがやきホールディングス株式会社　管理本部長　児玉　秀文
＜登壇者＞　株式会社ストラテジーテック・コンサルティング　常勤監査役
/株式会社sustenキャピタル・マネジメント　非常勤監査役　佐々木　啓之
ソフトバンク株式会社　常勤社外監査役　小嶋　修司

分科会2　多様化する情報開示の意義と未来
～有報のサステナビリティ開示・保証、総会前提出との関係も踏まえて～

＜進行役＞　森・濱田松本法律事務所外国法共同事業　パートナー　弁護士　渡辺　邦広
＜登壇者＞　EY新日本有限責任監査法人　パートナー　山中　彰子
一般社団法人日本IR協議会　首席研究員　佐藤　淑子
東京ガス株式会社　取締役　常勤監査委員　比護　　隆

分科会3　監査役等の責任を果たすための監査事例紹介
－監査役等の情報収集とコミュニケーションの実践－

＜進行役＞　新日本製薬株式会社　取締役監査等委員/公認会計士　中西　裕二
＜登壇者＞　ダイキン工業株式会社　監査役　植松　弘成
東建コーポレーション株式会社　常勤監査役　更科　幸弘

◆ プログラムのポイント

＜経営者講演＞

企業の第一線で活躍されている経営者の方から、会社経営において大事にされているお考え等についてご講演いただきます。今回の会議では、熊本国際空港株式会社　代表取締役社長　山川秀明氏にご登壇いただきます。

＜パネルディスカッション＞

企業不祥事の背景を読み解く

近時、複数の企業における不祥事、特に会計不正、安全管理体制の不備や品質不正、人権侵害、またこれらの隠ぺい等の不祥事が注目を集めています。 企業不祥事を防止することは、監査役、監査等委員、監査委員の最重要課題であることから、今回のパネルディスカッションでは、特に不祥事発生の背景を読み解くことを主題とし、企業不祥事を法律や内部統制の観点だけではなく、不祥事を起こす人間行動等に関する科学的な観点も用いて分析し、また、企業の取組み事例も交えつつ、議論を行います。 冒頭のパネル基調講演では、徳永・松﨑・斉藤法律事務所のパートナー弁護士である家永由佳里氏に、代表的な不祥事案の解説をいただきます。そして後半のパネルディスカッションでは、家永氏の講演の内容を受けて、引き続き家永氏の進行により、公認会計士　佐々野未知氏、東洋大学教授　桐生正幸氏、味の素株式会社　取締役常勤監査委員　松澤巧氏にご参加いただき、実際の企業不祥事防止のための意見交換を行います。

分科会1

AIと監査　Ver.2.0

生成AIの急速な進化により、監査業務の在り方も大きく変わりつつあります。本分科会では、かがやきホールディングス株式会社　管理本部長の児玉秀文氏、株式会社ストラテジーテック・コンサルティング　常勤監査役　佐々木啓之氏、ソフトバンク株式会社　常勤社外監査役　小嶋修司氏をパネリストにお招きし、監査実務におけるAI活用の先進事例や業務効率化・高度化の実例を紹介するとともに、ハルシネーションや情報管理などのリスク、AIガバナンスの視点についてディスカッションいただきます。

分科会2

多様化する情報開示の意義と未来
～有報のサステナビリティ開示・保証、総会前提出との関係も踏まえて～

有価証券報告書のサステナビリティ開示・保証制度への対応や、株主総会前提出・事業報告等との一本化に向けた議論など、企業の情報開示は大きな転換期を迎えています。開示情報の量と質の向上が求められる中、監査役等には開示プロセスや内部統制の実効性を確保し、企業価値向上につながる情報開示を支える役割が期待されています。本分科会では、森・濱田松本法律事務所外国法共同事業　パートナー　弁護士　渡辺邦広氏、 EY新日本有限責任監査法人　パートナー　山中彰子氏、一般社団法人日本IR協議会　首席研究員　佐藤淑子氏、東京ガス株式会社　取締役　常勤監査委員　比護隆氏の4名をお招きし、多様化する情報開示の現状と課題、監査役等の関与のあり方等について多角的に議論いただきます。

分科会3

監査役等の責任を果たすための監査事例紹介
－監査役等の情報収集とコミュニケーションの実践－

本分科会では、企業不祥事への対応とその未然防止に向けた監査役等の役割について考察します。新日本製薬株式会社　取締役監査等委員の中西裕二氏、ダイキン工業株式会社　監査役　植松弘成氏、東建コーポレーション株式会社　常勤監査役　更科幸弘氏をパネリストにお招きし、不祥事発生時の事実確認やダメージコントロール、再発防止への関わり方をはじめ、内部統制の整備と運用の乖離をどのように捉え、評価していくべきかについて自社事例をもとに議論します。さらに、多数の子会社を抱える企業におけるリスクベースの監査アプローチ、不祥事の兆候をどのように察知し対応すべきかなど、監査役等に求められる実践的な視点についてパネルディスカッションを行います。

＜経営者講演　講師略歴＞



山川秀明（やまかわ・ひであき）
長野県出身。早稲田大学卒業後、1986年に三井不動産株式会社へ入社。東京ミッドタウンなど大規模複合開発に従事。以後、2001年開発企画室企画課長、六本木プロジェクト推進部課長、2008年東京ミッドタウン事業部事業グループ長、2009年広報部広報グループ長、2012年不動産ソリューションサービス本部ソリューションサービス企画室長、2017年開発企画部長兼豊洲プロジェクト推進部長、2019年秘書部長などを歴任。2023年から熊本国際空港株式会社代表取締役社長に就任、現在に至る。

＜パネルディスカッション　講師略歴＞



家永由佳里（いえなが・ゆかり）
弁護士（福岡県弁護士会所属・56期）徳永・松﨑・斉藤法律事務所所属
2003年弁護士登録、2015年株式会社ミスターマックス（現・株式会社ミスターマックスホールディングス）、オーケー食品工業株式会社社外取締役就任。2022年、オーケー食品工業株式会社が親会社の株式会社ニップンの完全子会社となった際に独立委員会委員長として株式交換比率に関する検証・交渉を行った。同年TOTO株式会社社外取締役監査等委員就任。主に九州の上場企業に対する企業法務アドバイスのほか、企業等より依頼を受けて不正やハラスメント等不祥事案の調査、ハラスメント等の研修、企業を依頼者とする交渉・訴訟を担当。



佐々野未知（ささの・みち）
熊本県出身。熊本県立濟々黌高等学校、上智大学経済学部卒業。
KPMG LLPニューヨーク事務所、新日本監査法人、あずさ監査法人において会計監査業務に従事。その後、上場支援コンサルティング会社の取締役副社長を経て、2006年に現コントロールソリューションズ株式会社を設立し、代表取締役社長に就任。以来、上場企業を中心に内部統制、内部監査、リスクマネジメント等のコンサルティングに携わる。現在は、東亜建設工業株式会社および株式会社オークネットの社外取締役監査等委員も務める。会計監査、内部統制・内部監査、企業経営および取締役会における監査・監督と、それぞれの立場から企業ガバナンスの実務に携わっている。



桐生正幸（きりう・まさゆき）
1960年4月23日生まれ。山形県科学捜査研究所主任研究官（心理係）、関西国際大学人間科学部教授を経て現在は東洋大学社会学部大学院社会心理学専攻長　教授
博士（学術）。専門は犯罪心理学、社会心理学。一般社団法人ココロバランス研究所理事、日本応用心理学会常任理事、日本犯罪心理学会理事など兼任。関連図書は、単著、編著、分担執筆など30冊以上。『大学4年間の犯罪心理学が10時間でざっと学べる』（KADOKAWA）、『悪いヤツらは何を考えているのか』（SBビジュアル新書）、『カスハラの犯罪心理学』（集英社）など。



松澤巧（まつざわ・たくみ）
1987年に、味の素株式会社に入社。会社では主に人事部門を経験し、2003年から2008年までタイ、2014年から2017年までブラジルの子会社に現地法人役員として出向した。2017年にグローバル人事部長（のちに組織変更で人事部長）に就任。この時期に、特例子会社である味の素みらい株式会社の社長を務めた。2021年に監査部長に就任し、初めて監査の世界に触れる。その後、2023年から取締役常勤監査委員に就任し、現在に至る。

＜分科会１　講師略歴＞



児玉秀文（こだま・ひでふみ）

1964年生まれ。87年出光興産（株）に入社。経理部門で資金調達、連結決算導入、グループ収支管理等を経験する。13年より石油開発・石炭事業の企画部門を担当。海外の資源アセットの売却や不良債権の回収等に従事。17年広報室長となり、出光・昭和シェルの経営統合関連広報を担当。19年石炭事業部長となり事業戦略の見直しやバイオマス燃料事業の立ち上げ。
2022年より監査役。2024年より日本監査役協会常任理事・広報政策推進会議議長。2026年監査役退任。現在　中小企業向けの経営コンサルティング会社、かがやきホールディングスの管理本部長。



佐々木啓之（ささき・たかし）

大学卒業後、1995年に外資系IT企業にて営業、プロジェクトマネジメント、ソリューションマーケティングマネジャーに従事。20年以上の一貫したITキャリアを基盤に、IPO準備企業の常勤監査等委員に就任し、2023年の上場を実現。その後、内部統制室長兼マーケティング責任者を経て、現在は再び監査役としてIPO準備企業の監査に携わる。非製造業監査実務部会第1部会第1グループにおける有志AI勉強会の共同主催者。加えて、監査役・内部監査人・経営者層を対象とした監査AI部会の主催者として、100名超のコミュニティを運営。監査・経営業務の効率化と高度化をAIで支援し、関連業務の高いレベルでの平準化を目指す活動を展開中。外部セミナー等での登壇実績も多数。



小嶋修司（こじま・しゅうじ）

1987年、第一勧業銀行（現　みずほ銀行）入行。国内営業店、人事、経営企画部門などに勤務。2013年よりみずほフィナンシャルグループ　コンプライアンス統括部長、2016年みずほ銀行　常務執行役員　内部監査グループ長に就任。その後、みずほフィナンシャルグループで執行役常務人事グループ長、同コンプライアンス統括グループ長を歴任し、2020年よりみずほドリームパートナー　代表取締役社長を務める。2023年からソフトバンク株式会社の常勤社外監査役（現任）に就任。2025年より日本監査役協会「異業種交流第4部会」幹事。

＜分科会2　講師略歴＞



渡辺邦広（わたなべ・くにひろ）
森・濱田松本法律事務所外国法共同事業パートナー弁護士。2006年に同事務所入所後、米国留学（2012年にコロンビア大学ロースクール（LL.M.）を修了し、2012年から2013年までSimpson Thacher & Bartlett法律事務所にて研修）を経て、2013年から2015年まで法務省民事局にて局付として執務し、平成26年会社法改正を担当。2025年より東京大学大学院法学政治学研究科客員准教授及び公益社団法人日本監査役協会ケース・スタディ委員会専門委員。コーポレート・ガバナンス業務、株主総会対応、会社法関係争訟を含む紛争解決、M&A／組織再編、危機管理を主に取り扱う。『株主総会の理論と実務』（共著・有斐閣、2025年）、『実務問答会社法』（共著・商事法務、2022年）などの著作多数。



山中彰子（やまなか・あきこ）
東京大学経済学部卒業。
2001 年に太田昭和センチュリー監査法人（現 EY 新日本有限責任監査法人）に入所し、2002 年に公認会計士登録。日本の会計基準および国際会計基準（IFRS）を適用する様々な業種の企業の会計監査を担当するとともに、品質管理本部を兼務。
現在、監査法人の評議会社内評議員。
2025 年より、日本公認会計士協会の常務理事（監査・保証、テクノロジー担当）。



佐藤淑子（さとう・よしこ）
1985年慶応義塾大学経済学部卒業。同年日本経済新聞社に入社。1993年に日本IR協議会に出向。2015年同協議会専務理事。2026年から首席研究員。主な著書に『IRの成功戦略』（2015年、日本経済新聞出版）、『サステナブル経営と資本市場』（2019年、日本経済新聞出版・共著）、『コーポレートガバナンス・コードの実践　第3版』（2021年、日経BP・共著）など。東京都立大学大学院特任教授、日本証券業協会・自主規制会議　公益委員なども務めている。



比護隆（ひご・たかし）
1986年一橋大学卒業、東京ガス株式会社へ入社。現場業務を経て、総合企画部にて経営計画策定やガス・電力の法制度改革対応に従事し、在職中にMBAを取得。財務部長として財務体質の強化や投資家との対話を担い、資源部門ではLNGの調達・輸送戦略を推進。その後、エンジニアリング子会社社長やエネルギーソリューション本部長としてエンジニアリング・営業部門を牽引しました。専務執行役員として監査部・コンプライアンス部等のコーポレート部門を統括したのち、2023年より取締役常勤監査委員に就任。経営の適法性・健全性等の確保に向けた監査を担っており、これまでの多角的な経験を活かし、取締役会・監査委員会の実効性向上に注力しています。

＜分科会3　講師略歴＞



中西裕二（なかにし・ゆうじ）
1961年熊本県八代市生まれ。1985年富士重工業株式会社（現株式会社SUBARU）入社。経理部主計課配属。1994年監査法人トーマツ（現有限責任監査法人トーマツ）入所。監査業務、公開業務、FAS業務に携わったのち、2002年に株式会社ゼンリンの常勤監査役就任。現在は独立し金融商品取引法、会社法や学校法人、医療法人などの会計監査を行うとともに、新日本製薬株式会社の社外取締役監査等委員を務める。2014年より日本監査役協会九州支部の新任監査役等情報交換会で監査役が行う会計監査についての講師を務める。1985年早稲田大学政治経済学部卒業。九州大学MBA、MPH。



植松弘成（うえまつ・こうせい）
ダイキン工業（株）入社後、海外空調事業担当部門に配属され、アジア・オセアニア地域の営業を担当の後、営業企画部門にてグローバル・マーケティング担当。その後、欧州空調事業拠点（ベルギー）に出向。
海外空調事業担当役員、北米空調マーケティング担当役員（ニューヨーク在勤）を経て、2015年より監査役に就任。



更科幸弘（さらしな・ゆきひろ）
1995年 東建コーポレーション 営業部 営業開発部員として入社。1997年から社長室 法人仲介部、仲介部 賃貸管理課を経験し、2000年 本社 業進検査室（後に、事業監理部に改編）へ異動後は、主に建築営業の着工遅延支援業務、施主様のクレームや解約の対応、社員の非違行為の対応を担当。2015年から 法務課の責任者として、取締役会事務局、個人情報保護委員会事務局、法務相談、各種契約書等のリーガルチェック、知財管理、および訴訟等の全般を管理し、2023年7月から現職。

◆ 申込方法

- **会員会社の方（登録会員以外の会員会社にご所属の方も含む）**
  ご自身の「会員マイページ」にログインしていただき、「セミナー」→「全国会議」→「第103回 監査役全国会議」よりお手続きください。

- **会員会社以外の方**
  当協会HPより、「セミナー」→「全国会議」→「第103回 監査役全国会議」に進みお手続きください。

監査役全国会議プロジェクト委員会

委員長　柴垣 貴弘 株式会社第一ライフグループ
阿部 由里 株式会社カヤック
佐藤 雅敏 三井不動産リアルティ株式会社
木村 健　 三菱UFJアセットマネジメント株式会社
木村 雅則 ロート製薬株式会社
雨田 高志 株式会社クレオ
藤原 弘達 三井物産株式会社
後藤 敏文 （公社）日本監査役協会
（順不同・敬称略、社名は就任当時のもの。）

＜お問い合わせ＞
会員マイページについて
専用サポート窓口 03-6808-7604 平日 9:00～18:00 ※土日祝休業

会議に関するお問い合わせ
日本監査役協会 本部事務局　03-5219－6100